

1 文(文章)で解答する設問の答案については、次のA項の加点要素の合計から次のB項・C項の減点要素の合計を引いた得点をその設問の得点とします。ただし最低点は0点としマイナスの得点はつけません。

A

a 以下の採点基準では、模範解答をいくつかの要素に分割し加点要素とします。答案中にその加点要素に相当する部分があれば、その加点要素に配点された得点を与えます。

b ある加点要素は、その加点要素に配点された得点か0点で採点することを原則とします。たとえば5点配点された加点要素であれば5点か0点で採点することを原則とします。

ただし、その加点要素中の部分点を認める場合もあります。その場合それぞれの採点基準の中に明記されていません。

c ある要素に加点するか否かが、他の要素と無関係に決まる場合と、他の要素との関係で決まる場合があります。前者の場合は、その要素を単独採点(独立採点)すると言いその旨必ず明記されています。後者の場合は、他の要素との関係について以下の採点基準で具体的に指示されています。

d **解答通り**という条件がある場合はいかなる部分点も認めません。

B

a 答案中に大きな誤読と判定される内容(語句)などがある場合は、その内容(語句)を減点要素として示されている場合もあります。

b 加点要素でも減点要素でもない部分もありえます。その部分は加点も減点もしません。

C

次に該当するものは、答案の形式上の不備として、一箇所につき1点の減点要素とします。

a 誤字。漢字などの文字の明らかな誤りは誤字とします。

b 脱字。

c 文末の句点の脱落。

※字数指定のない場合、句点の脱落は誤字とし1点の減点とします。

d その他不適切と判断せざるをえない箇所。

e 不適切な文末処理。設問の問い方に対応していない形で答案の文末を結んでいない場合は、適切な文末処理が行われていないと見て形式上の不備による減点要素とします。

たとえば「:とはどういうことか?」という問いに体言で結んでいないものなどは適切な文末処理が行われていないと見て形式上の不備とします。

また、理由が問われているのに、「から」「ので」などで結んでいないものなども適切な文末処理が行われていないと見て形式上の不備と見ます。

※ただし、「ことである」などの表現も「こと」などで結んでいるものと同様適切な文末処理が行われていると見ます。また、「からである。」などの表現も「から」などで結んでいるものと同様適切な文末処理が行われていると見ます。

また文末の表現を問わない場合もありますが、その場合はその都度明記されています。

2 日本語の表現として不適切なものは程度に応じて減点します。

3 次の各項に該当するものは、部分点の要素があっても、その設問の得点を0点とします。

a 答案が解答欄の欄外にはみ出しているもの。

b 一行の解答欄に二行以上書いた場合もその設問の得点を0点とします。

c 字数指定のある設問で、字数をオーバーしたものの。

d 答案の文章が最後まで完結していないもの。

4 **古文あるいは漢文の訳を記述する設問**の場合も以上に準じますが、文末の句点や文末の処理あるいは答案の完結にこだわらなくともよい場合はその都度明記されています。

1 (評論) 採点基準 (合計＝50点)

問一 8点 (各4点) X＝二 Z＝口

問二 12点

(模範解答例)

A 3点

(境界線の設定が) 監視カメラの特定の映像だけを切り取り、

B 3点

それだけを目に触れるように選択したうえでできた設定であるのに、

C 6点

あたかも作為や選択の余地がないように感じられるということ。

各加点要素の加点の条件

【A・B・Cに関して部分採点を行う(A・B・Cそれぞれ単独に採点を行って構わない)】

A 監視カメラが特定の映像だけを切り取っていること…3点

B そうした映像を提供して見せているように選択していること…3点

C 作為や選択の余地がない(意図のないもの)ように感じられること…6点

★「自動化された映像の撮影は、日常的な平穏や異質なものに対する揺れ動く解釈を伝えることはなく、ただ判然とした異物の展示の瞬間だけを切り取る」という部分を中心にまとめたものは、A・Bの要素から各2点減

問三 5点 あいまいな報告と協力への感謝

★転記ミスは一カ所につき1点減

問四 4点 イ

問五 12点

(模範解答例)

A 4点

監視カメラが異物を防止すれば、事件は起きなくなり、

B 4点

監視カメラが事件の追跡のために効果を示せば、

C 4点

事件が起きていることになってしまいうから。

各加点要素の加点の条件

【A・B・Cに関して部分採点を行う（A・B・Cそれぞれ単独に採点を行って構わない）】

A 監視カメラが異物を防止すること（過去における異物の発見）の指摘：4点

B 視カメラが事件の追跡のために効果を示すこと（未来における異物の防止）の指摘：4点

C AとBの間で矛盾が起きてしまう（A・Bが同時に成り立たない）ことの指摘：4点

問六 4点 ハ

問七 4点（各1点）

イ＝×

ロ＝○

ハ＝○

ニ＝○

ホ＝×

大問二 問一

基準 配点.. 2点×4

■ 模範解答 ※解答例通り (漢字書き取り問題)

- 1 代替
- 2 実践
- 3 端
- 4 述懐

大問二 問二

■形式上の不備

- ・文末表現…要素B参照／理由説明の結び「くから」になっている場合は、要素B不可
- ・句点の扱い…1点減点

基準 配点… 6点

■模範解答

A
農家の生活にとって

B
有効ではない助言。(18字)

■採点方法…各要素単独採点

■字数…二十字以内 九字以下のものは全体不可(0点)

■要素A 農家の生活にとって…3点

- ・「現実離れた」の、「現実」が「農家の生活」であるということについて説明していないものは、要素A加点数なし
- ・「生活知として」は可
- ・牧羊など、「農家の生活」を具体化しているものは2点減

■要素B 有効ではない助言…3点

- ・「現実離れた助言」が「農家の生活」に「有効ではない」ものであるということの説明をしていないものは、要素B加点数なし

大問二 問三

■形式上の不備

- ・文末表現…要素D参照／理由説明の結び「くから」になっている場合は、要素D不可
- ・句点の扱い…1点減点

基準 配点… 12点

■模範解答

A

科学が発展して知識が増えることは、

B

科学知と生活知との間の乖離の解消に役立つはずなのに、

C

科学の発展が

D

さらにその乖離を拡大させているように思えるということ。(76字)

■採点方法…各要素単独採点

■字数…八十字以内 三十九字以下のものは全体不可(0点)

■要素A **科学が発展して知識が増えることは：3点**

- ・『知識は力なり』を、「科学の発展による知識の増加」という言い換えを求めたい
- ・同意例…科学技術の発展で知識が増加することは
- ・単に「科学が発展すると、」としているものはバツ

■要素B **科学知と生活知との間の乖離の解消に役立つはずなのに：3点**

- ・同意例…未解明の領域の解明につながるはずなのに
- ・同意例…理解できることや解決できることに結びつくはずなのに

■要素C **科学の発展が：3点**

- ・後半の「逆説」についても、再度「科学の発展」を主語にして説明していないものは、要素C加点数なし

■要素D **さらにその乖離を拡大させているように思えるということ：3点**

- ・「逆説」として、要素Bの逆の状態を説明していないものは、要素E加点数なし
- ・同意例…科学だけではそのことの良し悪しが決められない状態が拡大するよう思えるということ
- ・同意例…未解明の領域が広がっていくように思えるということ

「く」に思える」の抜けは2点減

「トランス・サイエンス領域」に言及するのみで説明のないものは 要素B加点数なし

大問二 問四

■形式上の不備

- ・文末表現…要素B参照／理由説明の結び「くから」になっている場合は、要素D不可
- ・句点の扱い…1点減点

基準 配点… 6点

■模範解答

A

専門知で理性的に理解したことを、

B

情動で否定するという働き。

■採点方法…各要素単独採点

■字数…三十字以内 十四字以下のもは全体不可(0点)

■要素A 専門知で理性的に理解したことを…3点

・「専門知」を「理性的」に「理解」するということを説明していないものは、要素A
加点なし

- ・同意例…科学的知識で理性的に理解したことを
 - ・同意例…科学知で合理的に理解したことを
- 「専門知」「理性的」いずれかの抜けは2点減

■要素B 情動で否定するという働き…3点

・要素Aとは異なる知識によって、「情動的」に「否定」するということを説明をして
いないものは、要素B加点なし

「心理的」そのままでは不可

■別解

情動にもとづく思考回路によって意思決定を行う心の仕組み

※「心理的な」の言い換え…「情動にもとづく思考回路によって意思決定を行う」3点

※「メカニズム」の言い換え…「仕組み」3点

大問二 問五

基準 配点… 6点

■ 模範解答 ※解答通り (記号選択問題)

イ

大問二 問六

■形式上の不備

- ・文末表現…要素B参照／理由説明の結び「くから」になっている場合は、要素D不可
- ・句点の扱い…1点減点

基準 配点… 6点

■模範解答

A 3点

公的な情報を、

B 3点

一方向で伝達するもの。

※末尾が「伝達するという用途」となっているものも可。

大問二 問七

基準 配点… 6点

■ 模範解答 ※解答通り (記号選択問題)

示

問一 波線部 a s e の敬語表現のうち、敬意の対象となる人物が他と異なるものが一つある。それはどれか。最も適当なものを選び、その記号を記せ。

【3点】

〔正解〕

A3
c

〔ポイント〕

A【3点】
c

※「c」以外はX。

問二 甲 空欄に入る語として最も適当なものを、次（Ⅱ選択肢）の中から一つ選び、記号で答えよ。ただし、選択肢は終止形で書かれている。また、同じ記号は二度解答してはならない。 【3点】

〔空欄部〕

A3 いと 思ひ聞え給へれば、

〔正解〕

A3 口

〔ポイント〕

A【3点】 口

※「口」以外は×。

※「口」と解答していても、乙・丙のいずれか、もしくは両方で「口」を解答している場合は×。

問二 乙 空欄に入る語として最も適当なものを、次（Ⅱ選択肢）の中から一つ選び、記号で答えよ。ただし、選択肢は終止形で書かれている。また、同じ記号は二度解答してはならない。 【3点】

〔空欄部〕

A3 なにとなく 心地し給ひて、

〔正解〕

A3 イ

〔ポイント〕

A【3点】 イ

※「イ」以外は×。

※「イ」と解答していても、甲・丙のいずれか、もしくは両方で「イ」を解答している場合は×。

問二 丙 空欄に入る語として最も適当なものを、次（Ⅱ選択肢）の中から一つ選び、記号で答えよ。ただし、選択肢は終止形で書かれている。また、同じ記号は二度解答してはならない。 【3点】

〔空欄部〕

A3 大臣覚えなきものから、 として、

〔正解〕

A3 ホ

〔ポイント〕

A【3点】 ホ

※「ホ」以外は×。

※「ホ」と解答していても、甲・乙のいずれか、もしくは両方で「ホ」を解答している場合は×。

問三 傍線部を、「その心」「誰も」の内容が明らかになるように、現代語訳せよ。

【6点】

※全体的な意味に不具合があっても、各部分の訳があていければ、その部分の点は与えることとします。

〔傍線部〕

A2 その心して、 B2 誰も C2 待ち給ふ

〔解答例〕

A2 大納言が来るものだと思って、 B2 女宮の邸の人々は誰もが C2 お待ちになる

〔ポイント〕

A【2点】その心して、 ↓ 大納言が来るものだと思って、

※「大納言が来ると思って」の意があればよい。「大納言」は「実兼」でもよい。

B【2点】誰も ↓ 女宮の邸の人々は誰もが

※「女宮の邸の人は・女宮に仕える人は」の意があれば【1点】。

※「誰もが・皆」の意があれば【1点】。

C【2点】待ち給ふ ↓ お待ちになる

※尊敬の意がない場合は【1点】。

※文末は連体形であるのが正しい。体言（名詞）へ続かない形である場合は、マイナス1点。ただし、解答末の句点の有無は不問。

問四 ② 傍線部を現代語訳せよ。 【5点】

※全体的な意味に不具合があっても、各部分の訳があていければ、その部分の点は与えることとします。

〔傍線部〕 A2 なにのあやめも B3 見えわかで、

〔解答例〕 A2 何が何やら B3 見わけもつかなくて、

〔ポイント〕

A 【2点】 なにのあやめも ↓ 何が何やら

※「何が何か・誰が誰か・どこがどこか」でもよい。

※「何なのか・何のことか・何の姿か・誰か」等は 【1点】。

B 【3点】 見えわかで、 ↓ 見わけもつかなくて、

※「見わけが付かず・見分けられず・区別できなくて・判別できず・識別できず」等でもよいとする。

※右の意がない「見えなくて」は 【1点】。

※文末は「くなくて・くしないで・くず」が正しい。これら以外の表現になっている場合は全体から、マ
イナス1点。ただし、解答末の読点の有無は不問。

問四 ③ 傍線部を現代語訳せよ。 【5点】

※全体的な意味に不具合があっても、各部分の訳があていければ、その部分の点は与えることとします。

〔傍線部〕 A2 あるやう B1 あらんと C2 思して

〔解答例〕 A2 何かわけが B1 あるのらうと C2 お思いになって

〔ポイント〕

A 【2点】 あるやう ↓ 何かわけが

※「わけが・事情が・理由が」でもよい。「何か」の有無は不問。

B 【1点】 あらんと ↓ あるのらうと

※推量の意「くだろう・くはずだ・く（あり）そうだ」がない場合は×。

B 【2点】 思して ↓ お思いになって、

※尊敬の意「おくなる・くなされる・くいらっしゃる」がない場合は 【1点】。

問五 A 傍線部について、その理由を説明せよ。

【6点】

〔傍線部〕

門の下にやり寄せて

〔解答例〕

A3 大納言に見つからないように隠れ、

B3 大納言をやり過「そうと考えたから。」

〔ポイント〕

※ 「忍び歩きを見つからないように」の意の有無は不問。

A【3点】 大納言に見つからないように隠れ、

※ 「大納言に見つからないように・大納言から隠れるため・大納言に会わないように・大納言を避けるため」等でもよい。

B【3点】 大納言をやり過「そうと考えたから。」

※ 「大納言が通り過ぎるのを待ったため」等でもよい。

※ 文末は「くからくのでくため」等が正しい。これら以外の表現になっている場合は全体から、**マイナス1点**。

問五 B 傍線部について、その理由を説明せよ。

【6点】

〔傍線部〕

あやしうと思ひ

〔解答例〕

A3 大納言は普段は車を邸内に入れて降りるのに、

B3 今日は門で降りたから。

〔ポイント〕

A【3点】 大納言は普段は車を邸内に入れて降りるのに、

※ 「大納言は普段は邸内で車を降りるくから」の意があればよい。

※ **1** 「大納言（実兼）」が明らかでない場合は、**マイナス2点**。

※ **2** 「普段は・いつもは・これまでは・先々は」の意がない場合は、**マイナス1点**。

※ **3** 「邸内で」は「門の内（中）」で・対の屋（離れ）で・対の屋（離れ）の端で」等でもよい。この説明がない場合は、**マイナス2点**。

1 例 「普段は邸内で車を降りる」 **【1点】**

2 例 「大納言は邸内で車を降りる」 **【2点】**

3 例 「大納言はいつもと違って」 **【1点】**

1・2 例 「邸内で車を降りる」 **【0点】**

1・3 例 「いつもと違って」 **【0点】**

※ 「人目を忍んで」の意の有無は不問。

B【3点】 今日は門で降りたから。

※ 「今日は」は「今夜は・今夕は・今回は」等でもよい。これがない場合は、**マイナス1点**。

※ 「門で」は「門から・門の手前で・門の前で」等でもよい。これがない場合は **x**。

※ 文末は「くからくのでくため」等が正しい。これら以外の表現になっている場合は全体から、**マイナス1点**。

問六 傍線部について、この時の大臣の心情を説明せよ。

【8点】

〔傍線部〕 更かさで、出で給ひにけり

〔解答例〕

A4 女宮の様子と大納言の車の件から二人の交際に気づき、

B4 自分が女宮に言い寄るの

はあまりに好色で甲斐がないことだと思ふ心情。

〔ポイント〕

A【4点】 女宮の様子と大納言の車の件から二人の交際に気づき、

※**1** 「女宮と大納言の関係（交際）に気づいた」の意があれば【2点】。

※**1** がある上で、**1** のことに気づいた根拠として「女宮の様子」があれば、**プラス【1点】**。

※**1** がある上で、**1** のことに気づいた根拠として「大納言の車（大納言の到来）」があれば、**プラス【1点】**。

B【4点】 自分が女宮に言い寄るのはあまりに好色で甲斐がないことだと思ふ心情。

※「好色」も「甲斐がない」もないが、「女宮に言い寄る（迫る・関係を持つ・求婚する・近づく等）のはよくない」の意がある場合は【2点】。

「好色」も「甲斐がない」もなく、「言い寄る（迫る・関係を持つ・求婚する・近づく等）「もなく、二人（大納言と女宮）の邪魔をするのはよくない」の意がある場合は【1点】。

※「女宮に言い寄る（迫る・関係を持つ・求婚する・近づく等）のは色（色好み）だ」は【3点】。

「二人（大納言と女宮）の邪魔をするのは好色（色好み）だ」は【2点】。

※「女宮に言い寄る（迫る・関係を持つ・求婚する・近づく等）のは甲斐がない」は【3点】。

「二人（大納言と女宮）の邪魔をするのは甲斐がない」は【2点】。

※「女宮に言い寄る（迫る・関係を持つ・求婚する・近づく等）のは好色で、甲斐がない」は【4点】。

「二人（大納言と女宮）の邪魔をするのは好色で、甲斐がない」は【3点】。

※文末は「心情・気持ち」等の名詞、または「と思つている」等の表現でもよい。心情説明として適当でない文末になっている場合は、全体から**マイナス【1点】**。

問七 『増鏡』は歴史物語に属する作品である。歴史物語に属する作品を成立順に並べたものとして正しいものはどれか、次（＝選択肢）の中から一つ選び、記号で答えよ。 【2点】

〔正解〕 A2＝

〔ポイント〕

A【2点】＝

※「三」以外は×。

第2回 早慶上理・難関大国公私大模試 「論語」「小学」

四 (漢文) 採点基準 (合計 50点)

問一 【解答通り】各2点 2×4=8点

解答

a ㄥたれか「いづれか」も認める b ㄥあやまちを
c ㄥようやく d ㄥより

採点基準

・送り仮名がない 0点 例 a「たれ」「た」 b「あやまち」 c「ようやく」
d「より」
・よくある間違い 例 a「だれか」「だれ」 c「やうやく」「じびびやく」

問二 【解答通り】5点

解答

未だ学を好む者を聞かざるなり (と)

採点基準

・句読点は不要であるが、「ゝなり」「ゝなりと」「など許容。
・漢字をひらがなにしているもの…「か所につき1点減点。

問三 【解答通り】7点

解答

ホ

問四 5点

解答例

ㄥ 聖人に次ぐ者

ㄥ 聖人のように優れた者

採点基準

・「並ぶ人物」は3点。

解答例

a 4点

b 3点

顔回や孟子を見習えば、たとえこの二人ほどにはなれなくても、

c 3点

これに近い賢人にはなれる ということ。

採点基準

全体…字数が四〇字なくとも要素が入っていれば加点する。

文が完成していないものは〇点。

「今の学ぶ者」「幼年の学習者」など主体の明示は不問。

a…「顔回や孟子を」の要素に2点。

「見習えば」の要素に2点。

「顔回」は「顔子」も可。

「顔回や孟子」を「顔回」のみ、または「孟子」のみにしているもの減点1点。

b…「たとえ」はなくとも仮定・逆接になっていれば可。

c…「これに近い」の要素に1点。

「賢人になれる」の要素に2点。

問六 【解答通り】 各3点＝6点

解答 X＝遷 Y＝式

採点基準 ・「式」の誤字に注意。

問七 【解答通り】 5点

解答 知ニ埋 嚮之戯 不レ如ニ 俎豆一

採点基準 ・送り仮名をつけているもの…不可。

問八 【解答通り】 4点

解答例 孟母ニ遷・慈母ニ遷

以上